

広報ひこね

2002
5/1



れんげ草の咲く休耕田（鳥居本町）



自宅前の中辻さん

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、**☎**情報政策課広報係で撮影します。**☎**22-1411（内線431）へ気軽に連絡してください。

関ヶ原の戦い以前からの歴史や文化、そしてこの豊かな自然に恵まれた鳥居本をどのように次代の子どもたちに引き継いでいくか、つくづく考えさせられるこのごろです。

周りの山の若葉が青々と茂り、稲の苗が規則正しく植えられた田の水面に照り返す太陽の光でいつそう初夏を感じる時期になりました。
一方、後継者不足から、高齢者に依存しじゅうぶん手が回らず、先祖がコツコツと耕作してきた美田に人の背丈ほどもある雑草が生い茂る状況があちらこちらに見られるのは心痛みます。そんな時代にあつて、れんげ草の淡い紫色の花が咲き乱れる景色や、その中で催されるお祭りは幼いころの楽しい思い出がよみがえり、疲れた心身がいやすされる思いがします。

中辻仁史さん（鳥居本町）

表紙のことば